



自家用味噌作り(大田)

広報部会では、柏崎駅待合室の掲示板を利用し、季節にちなんだコミュニティの情報やお知らせ、地域活動の様子や風景などを伝える活動を行っています。

柏崎駅にお立ち寄りの際は是非待合室の掲示板をご覧ください。



講演会の様子

今年度は講師に新潟産業大学経済学部講師の権田恭子先生をお招きし、「地域を元気にするキャラクター」と題して講演会を行いました。

市民プラザでコミュニティ全体研修会が行われ、市内31のコミュニティセンターの会長、センター長、主事の約100名が参加しました。

今年度は講師に新潟産業大学経済学部講師の権田恭子先生をお招きし、「地域を元気にするキャラクター」と題して講演会を行いました。

昨今地域活性化、観光振興のためにゆるキャラは欠かせない存在になっています。キャラクターと異なる点は、その地域を象徴して見た目や雰囲気、動作から癒しを提供してくれる存在であるという点です。誰にでも愛されるゆるキャラを考えるには何が大切か、地域のシンボルやイメージについてアンケートを行い、地域の共通

テーマを明確にし、そのテーマ

マカライラストを描くだけで

なく名前や性格、特技、年齢

など細かく設定を作ります。

また着ぐるみや人形などの立

体化や地域の特産物のパッ

ケージに使用することで、よ

り知名度が上がり、地域問わ

ずに愛されるゆるキャラが生

まれます。

柏崎駅 コミュニティ 掲示板

コミュニティ全体研修会を行いました 12月2日

安心・安全で元気な地域作りを目指して

柏崎市「ミニユーティ推進協議会だより

第6号

【発行】
**柏崎市コミュニティ
推進協議会**

**柏崎市コミュニティ推進協議会
(通称)コニ協とは:**

柏崎市の31地区的コミュニティ協議会が参加し、各地区的地域づくりの中心的役割を担うコミュニティ職員が各自コミュニティの抱えている課題の共有や研修などを通じて地域の活性化に取り組むための組織です。



新潟産業大学経済学部
権田恭子 講師

講師紹介

【専門分野】教育行政学、メディア教育、DTPデザイン

【略歴】柏崎市西山町生まれ。筑波大学第二学群人間学類卒業。同大学院博士課程教育学研究科教育基礎学専攻。

現在、筑波大学情報コミュニケーション学部、武藏大学社会学部の非常勤講師。

また、イラストレーターとしてテレビ、雑誌、携帯サイトで活躍

中。

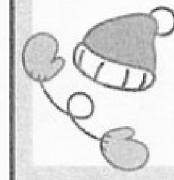
【主な活動】吉本興業の公式携帯電話サイト「ケータイよしもと」の作品を手がけ、平成24年の春と夏、東京と柏崎の2会場で集大成の作品展を開催した。

第6回 元気な「ミセン」にお邪魔します



石地コミュニティセンター（西山郷）
石地地区コミュニティ振興協議会
センター長

藤井一正



石地コミュニティセンター
花壇から正面玄関を望む

コミュニティセンターの紹介

石地コミュニティセンターは昭和60年、旧石地小学校跡地に建設されました。

合併前は海岸6地区が対象地域でした。しかし、海岸6地区が対象地域になりました。市内でも最大の広さを誇る百畳の和室や2階へ通じるスロープ、ガラスを多用した明るい館内などが特徴です。

地域の紹介

石地地区は柏崎市の最北端に位置し、県内でも有数の「石地海水浴場」があります。以前は1つの



花一杯運動
コミセンの花壇を花でいっぱいにします

コミュニティ創立10周年記念
ジョイントコンサート 11月9日

石地地区は柏崎市の最北端に位置し、県内でも有数の「石地海水浴場」があります。以前は1つの

自治体として近隣の中心でした。が、高度成長期以降の人口流出により過疎、高齢化が進み、様子は変わりました。しかしこの状況下においても、コミュニティ計画に掲げた目標「住んでいて楽しいと感じられる地域にしよう」を実現するため、さまざまな事業に取り組んでいます。

石地コミュニティセンターは昭和60年、旧石地小学校跡地に建設されました。合併前は海岸6地区が対象地域でした。しかし、海岸6地区が対象地域になりました。市内でも最大の広さを誇る百畳の和室や2階へ通じるスロープ、ガラスを多用した明るい館内などが特徴です。



ジョイントコンサート
▲左より久米田さん(客演)、
Tamikoさん、辻さん



▲替女唄(ごぜうた)
の第一人者
萱森直子さん



石地海の闇魔市
FMピッカラの取材に答える佐々木会長

見が寄せられ、大変好評でした。
石地海の闇魔市 6月14日

コミュニティ計画策定に際し、「地域の文化をもう一度掘り起こしてみよう」と起ち上げたのが「おんち(=温故知新)俱楽部」です。俱楽部では、地域の歴史的・文化的・宗教的な宝を整理すると共に、過去に行われていた行事などを調査しました。その結果、当地でも昔は闇魔市が開かれていたという事が明らかになりました。ではまずおんち俱楽部で再現してみよう、と始まったのが「みにみに闇魔市」です。国道脇の狭いスペースで、空間的余裕を確保するのがひと苦労ですが、地域に賑わいを創出するイベントとして、地元ではかなり定着した感があります。7回目を迎えた今年度より「石地海の闇魔市」と名称を改めて実施しています。

各地のコミュニティまつり

西部郷 大洲・米山・上米山・鯨波・剣野

シリーズ2回目は西部郷を紹介します。

大洲コミュニティでは、10月19日に例年と少し趣向を変え、作品展メインで、いろいろな遊びの要素を取り入れて行われました。室内だけでなく、駐車場や赤坂山公園も使い、外で体を動かすイベントを実施しました。子どもたちから高齢者までの元気な声が響いていました。



番神太鼓で祭りを盛り上げました

米山コミュニティでは、10月26日に芸能発表がステージで行われ、22演目が発表されました。



踊りも衣装もバッチャリ、ステージ発表

上米山コミュニティでは、10月26日に行われ、サークルの芸能発表や作品展示、カボチャの重さ当てクイズなどを行い、楽しみました。コミュニティまつりは、地区

歳から86歳までと幅広い年齢の方が出発され、会場は和やかな雰囲気に包まれました。創作広場では、作品展と地域のお宝探訪マップなどが展示されました。また、今回は特別企画として第三中学校の教師と生徒によるバイオリン演奏・重唱・独唱、吹奏楽部の演奏が行われました。



出店コーナー、子ども大活躍！！

鯨波コミュニティでは、10月19日に行われました。地域の方々に「元気を与える祭り」になるようになどを行いました。専門部会と健康推進員で企画運営



カラオケクラブの皆さん和気あいあいと

住民が一堂に会する数少ない機会ですので、あちらこちらで和やかな笑顔の花が咲いていました。



はつらつとした演技に拍手！

剣野コミュニティでは、10月25日に隣接する剣野小学校の「青空フェスタ」と同日開催で作品展と屋台村を、26日にステージ発表を行いました。屋台村は好天に恵まれ大盛況でした。初お目見えの「石鹼デコパージュ・ゴムバンドつくりコーナー」も大賑わいになりました。また、ステージ発表の

「太極拳」では、発表者の中で最高齢の方がはつらつと演技され、観ていて元気をもらいました。

センター長視察研修に行ってきました

11月20日
～
21日

コミュニケーション推進協議会では、センター長視察研修を行い、市内のコミュニケーションセンターのセンター長23名が参加しました。

今年度の視察研修は、宮城県登米市を訪れ、浅水コミュニティ運営協議会の皆さんからコミュニケーション活動や地域づくりを学び、交流を行いました。また東日本大震災で被災した南三陸町にも視察に行きました。



登米市浅水コミュニティ運営協議会との意見交換会

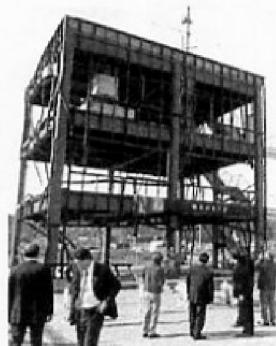


石ノ森章太郎ふるさと記念館

2日目は、石ノ森章太郎ふるさと記念館を見学した後、東日本大震災からの復興のため、地元の事業者によつて運営されている仮設商店街「南三陸さんさん商店街」を訪れました。

その後、津波により骨組だけ残された旧南三陸町防災対策庁舎を視察し、津波の恐ろしさを間近で感じました。

2日間の研修を終え、お互いのコミュニケーション活動について語り合ひ、今後のコミュニケーション活動に生かせる情報を得ることができました。また東日本大震災の被害現場を訪れ、防災に対する取り組みの重要性を再認識し、これから地域の防災活動に役立つ視察研修になりました。



旧南三陸町防災対策庁舎



南三陸さんさん商店街

11月13日(木)第4回研修部会
20日(木)～21日(金)
センター長視察研修
25日(火)第2回役員会
12月2日(火)全体研修会
16日(火)第4回広報部会
19日(金)
第5回コミュニケーション研究委員会
第2回会長会議

1月8日(木)
第6回コミュニケーション研究委員会
23日(金)
災害ボランティアコーディネーター養成講座「基礎編Ⅱ」
2月5日(木)第5回広報部会
13日(金)第5回研修部会
19日(木)
第3回役員会
3月2日(月)
第7回コミュニケーション研究委員会

編集後記

昨日、防災の面で地域の絆が重要視されるようになりました。地域の皆さまがより強く繋がることのできる場所作りを支援していきたいと思います。